

事業番号	事務事業名	上齋原観光スポーツ施設臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06620	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興係	担当者・シート作成者	平田 誠
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原観光スポーツにある浄化槽計装盤がスチール製で、経年劣化により躯体に穴が開き始めたため修繕を行う。 建設課への協力を仰ぎ、現地及び業者との協議を行った結果、修繕部分をSUS製の躯体に変更することにより解消する。 SUS製躯体の製造が3月31日を越すため、令和元年度から2年度への繰越事業として実施する。	浄化槽の管理をしている(株)大環より雨水の侵入の恐れがあるため修繕の協議があったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績			12,143 12,625		
イ	イ 上齋原地区人口	人	見込 実績			600 534		
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	ア 施設利用者数	人	目標 実績 達成率			6,500 5,155 79.3%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 設計委託	ア 委託件数	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 07 保健体育費	目 02 体育施設費	大事業 01 中事業 52	予算上の事業名	上齋原観光スポーツ施設臨時管理費	事業番号	06620								
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源			660			660	一般財源			462			462				
合計	0	0	660	0	0	660	合計(A)	0	0	462	0	0	462				
財源名称	従事正職員人数									1			1				
	延べ業務事務時間									10			10				
	人件費計(千円)(B)						0	0	0	33	0	0	33				
	最終予算額		660 千円		予算執行率		70.0%		トータルコスト(A+B)		495		495				
主な支出事業内容(予算)	工事請負費						660 千円										
	主な支出事業内容(決算)						工事請負費						462 千円				

事業番号	06620	事務事業名	上齋原観光スポーツ施設臨時管理費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
上齋原観光スポーツ施設も稼働から多数年月が経過し、施設の修繕も必要となってきている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
建設課の協議を仰ぎ、本当に必要な修繕を行うべく確認作業を行った。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
管理している業者から修繕の要望が寄せられていた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	町有施設であるため、政策体系に結びついている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	町の施設であるため、妥当である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	町の施設であるため、見直す余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 説明	修繕の内容から向上余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない	理由 説明	浄化槽の修繕という観点から廃止・休止はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある	理由 説明	建設課からの協力を仰ぎ進めているため、これ以上向上の余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	上記と同様。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	これ以上の削減余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	公平・公正となっている。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	業者からの見積もりのとおりではなく、建設課の協力があつたおかげで本当に必要な部分の修繕を行うことが出来た。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 体育施設が年々修繕が必要となってきており、利用者に安全安心した利用をしてもらうためには段階的な修繕が必要となってきている。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
施設の段階的な修繕計画を立て、実施できるようにしていく。																									